

<講義紹介>

経営学特別講義「我が社の経営と京都」

龍谷大学経営学部教授

山西 万三

龍谷大学経営学特別講義「我が社の経営と京都」は、形式的には龍谷大学・京都産業学センターが龍谷大学経営学部へ提供する講義として、経営学部3年生、4年生を受講対象として実施されている、講義回数15回、2単位の講義です。

なぜ、このような形式をとって実施されているのかについて説明しますと、この講義は龍谷大学・京都産業学センターの「事例研究シリーズ」作成を目的としているからです。龍谷大学・京都産業学センターは、当初、龍谷大学経営学研究科付置機関として発足しました（詳しい経緯は『京都産業学年報 創刊号』を参照ください）。そして、当初この講義は龍谷大学大学院・経営学研究科の特色ある講義開発として企画検討されましたが、夜間の時間帯の大学院講義であるため少人数の受講者しか集まらないのではないかという問題から、経営学部生対象の講義として実施されることになりました。

当初企画された「事例研究シリーズ」計画では、京都企業経営者に講義を頂くということを通して京都企業の経営事例を集めるだけではなく、京都企業が京都に立地し京都で経営することの意義を経営者の皆様にお話しいただくことで、京都と京都企業との相互関係を明らかにしていきたいという目的がありました。それは多様な京都企業が、京都で企業立地し経営することのメリットとデメリットをどのように見られているかを知ることで京都企業からの学びを深めていくとともに、もろもろの経営学説からではなく京都企業の実際の経営から学ぶことによって特色ある大学院教育に役立てていくという教育実践を目標とするものでもありました。その成果は、大学関係だけでなく企業・行政などにも還元されるべきものです。

これは京都にある経営資源と京都にある企業の経営主体との相互の関わり合いを分析的に検討し、「京都産業学」という学問を確立していくという課題を背負ってのことです。経営学特別講義「我が社の経営と京都」は、上記

の目的実現プロセスの一環として企画され、毎年「京都産業学センター・事例研究シリーズ」として講義録が刊行されています（『我が社の経営と京都』の過去の講義録は、龍谷大学深草図書館で閲覧いただけます）。

京都産業学センターの活動と関連して付け加えますと、京都産業学センターでは、「京都産業学研究会」として外部講師を招聘した研究講演会を中心に年2回実施してきました。また、伝統産業については当代一流の伝統工芸士などの皆様からのご講演を中心とした「京都工芸サロン」が年2回、企画・実施され、記録を残すことで事例研究資料を集めてきました。また、いくつかの共同研究プロジェクトが立ち上げられて研究がすすめられ、京都企業研究シリーズ・ブックレット（市販本）もこれまでに企業別4巻、テーマ別1巻の刊行が行われてきました。

この経営学特別講義が発足した当時は、企業経営者からの講義を中心に講義は組み立てられていましたが、守屋晴雄先生（現名誉教授）がこの講義担当をされていた時期に、「〈前略〉2010年度から少なくとも3年間は、京都企業・京都産業についての準備的な知識を与える準備編、センターにおけるいくつかの京都企業を対象とした共同研究の成果に基づいた事例研究編、そして、京都企業による講義編、という3部構成にすることがセンターによって決められた。〈中略〉このような3部構成によって、センターは、この科目に緩やかなりともまとまりを与えようと意図したと2010年度講義録に記されている（署名はないが執筆者は守屋晴雄教授）」と記されています。

小職が担当になった2012年度からもこの講義編成を大枠で守って京都産業学センター会議へ講義編成提案をしてきました。前段で、京都の経営資源である京都の経済、京都の文化、京都の自然、京都企業のエトスを深める講義、中段では事例研究とテーマ別研究的な要素の講義、後段で経営者招聘講義という形をとってきました。私がこの講義を担当させていただいたのは2012年度から2017年度までの6年間ですが、できるだけ多くの企業からということを中心掛けるとともに招聘京都企業は企業規模の大小、業種の偏りに配慮し、大企業から中小企業まで、多様な業種の経営者の皆様にご登壇頂いてきました。

経営学特別講義を受講した4回生からは、この講義を2回生、3回生の時

に受けたかったという声が寄せられています。ここからは学生が、就活を意識した企業研究としてこの特講「我が社の経営と京都」を活用している姿が見て取れます。

ご登壇くださいました複数の企業経営者の皆様からも、この講義をすることによって自社の経営を振り返り検討する良い機会を得た、というお話を頂くこともあります。また、大学で講義する場は滅多に得られない貴重な場であり有難いといっただけの企業経営者の方もおられます。身勝手な解釈かも知れませんが、ある意味で産学協同の実践の場として「経営学特別講義」が根付いていることを実感させていただいております。

私ども龍谷大学・京都産業学センター側に課せられている第一の課題は、この講義録の教育への積極活用と講義録を活用した京都産業学研究の推進ですが、この点の取組の不十分さは否めません。今後の京都産業学センターの課題の一つと存じます。

2017年度実施講義スケジュールと講師は別表のとおりでございます。

最後になりましたが、お忙しい中、ご講義の労をとってくださいました皆様に心より厚く御礼申し上げます。(2017年1月17日)

2017 年度 龍谷大学経営学特別講義「我が社の経営と京都」

講義日程

日付	会社名等	お名前	備考
2017年 9 月26日	ガイダンス 京都の産業を考える	龍谷大学教授 山西 万三	
2017年10月 3 日	京都の文化と産業	龍谷大学・非常勤講師 北野 裕子 先生	
2017年10月10日	京都の自然と産業	京都大学防災研究所准教授 竹門 康弘 先生	
2017年10月17日	島津製作所創業記念館	主任学芸員 川勝 美早子 先生	
2017年10月24日	京都企業の経営理念)	龍谷大学教授 山西 万三	
2017年10月31日	株式会社 PROTEC	代表取締役 深水 健太郎様	
2017年11月 7 日	株式会社野田屋	代表取締役社長 野田 勝廣様	
2017年11月14日	株式会社ナベル	代表取締役社長 南部 邦男様	
2017年11月21日	西川ローズ ふとん販売株式会社	代表取締役社長 伊崎 清様	
2017年11月28日	京都青果合同株式会社	代表取締役社長 内田 隆様	
2017年12月 5 日	アルファトラベル 株式会社	代表取締役 森野 茂様	
2017年12月12日	佐々木化学薬品 株式会社	代表取締役 佐々木 智一様	
2017年12月19日	株式会社白鳩	取締役副社長 池上 正様	
2018年 1 月 9 日	京都信用金庫	理事長 増田 寿幸様	
2015年 1 月16日	まとめ	龍谷大学教授 山西 万三	

- ◇講義時間 毎週火曜日 15 時～16 時 30 分。
 ◇講義教室 龍谷大学深草キャンパス、22 号館 203 教室
 ◇受講者対象者 龍谷大学経営学部 3 回生・4 回生、100 名